

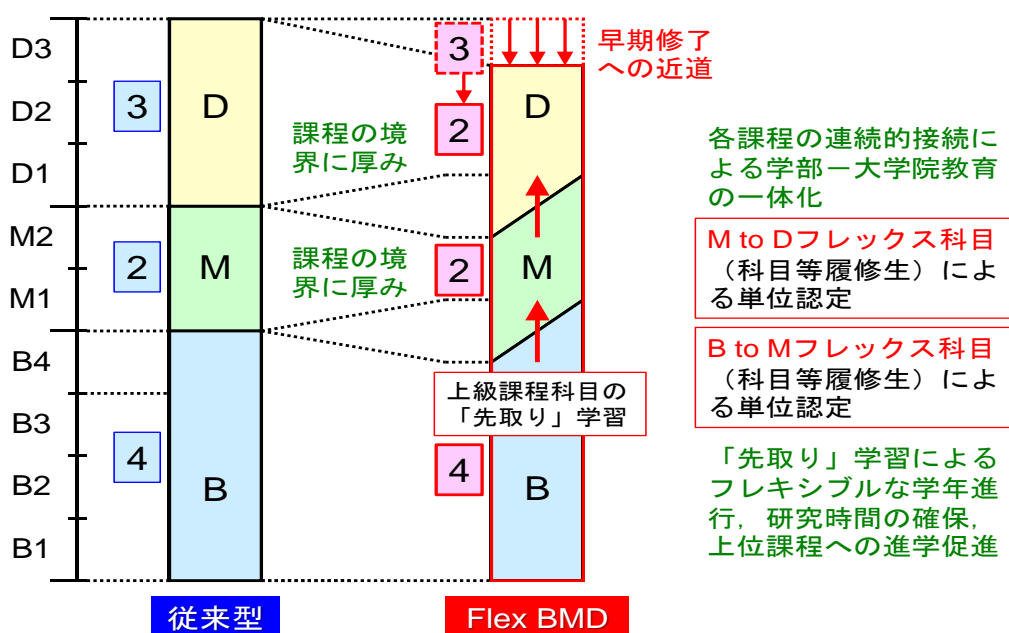
FlexBMD コース(博士前期課程・博士後期課程)について

大学院環境生命自然科学研究科では、多様に変化する社会的ニーズに応える専門知識と能力を、より早く、より深く、より広く学ぶことができるFlex BMDコースを開設します。

本コースには2つの特徴(=2つのフレキシビリティ)があります。

(1)学ぶ時間のフレキシビリティ

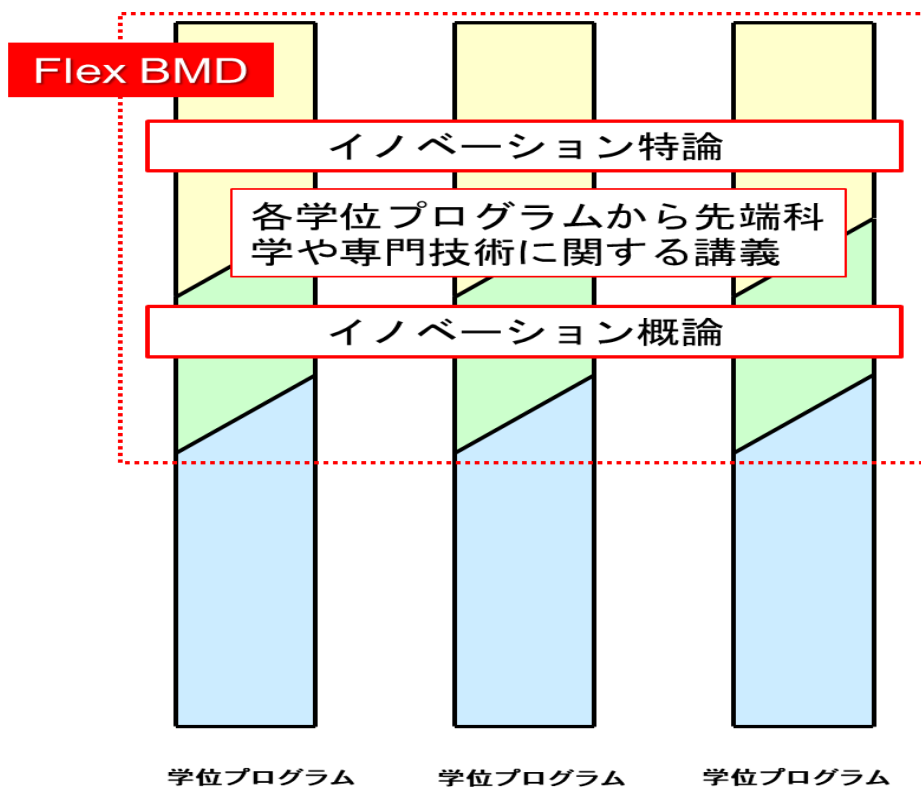
学部4年生(B)で博士前期課程(M)の科目を、博士前期課程(M)で博士後期課程(D)の科目を、それぞれ履修する「フレックス科目」を設けています。この先取り学習システムを利用することにより、一般の学生よりも早く大学院の専門科目を履修することが可能となり、また、科目の成績も引き継がれます。コース履修生は、大学院進学後に時間的な余裕ができ、研究をより積極的に進めることができます。



(2)学ぶ分野のフレキシビリティ

最近の技術者と研究者には、より広い視点あるいは自分の専門とは違う視点から見たときに生まれる新たな着想が求められています。本コースでも、これに対応するため、「イノベーション概論」(博士前期課程)・「イノベーション特論」(博士後期課程)という複数の学位プログラムから各分

野のスペシャリストが担当する講義を設置しています。この講義を通して、世界的にどのような研究や技術が積極的に推進されており、それが現在どの程度のレベルであるかを効率良く知ることができます。



BMD コース生は、指導予定教員と相談の上、入学前に履修する科目を決定します。

なお、博士前期課程入学前に履修する科目の単位数は8単位を、博士後期課程入学前に履修する科目の単位数は5単位を、それぞれ上限とします。

BMD コース生として大学院博士前期課程入学前に修得した単位は、大学院博士前期課程入学後8単位を、博士後期課程入学前に修得した単位は、大学院博士後期課程入学後5単位を、それぞれ上限として課程修了の要件となる単位とみなすことができます。